

2019年

梅まつり俳句優秀作品

榎本 達 選

特選（一般の部）

梅咲きて富士玲瓏とありにけり

評 府中市 村田のぼる
早春の富士の美を称えつつ、梅が咲き出すころの季節感を捉えているように感じられます。

紅白の飛梅樹勢揃ひ立つ

評 府中市 山本 郷江
大宰府由来の飛梅も手入れが良いせいかだいぶ育ってきて、花の色も冴えています。その勢いを捉えました。

竹馬に母がお手本示しをり

評 狭山市 古谷 彰宏
運動神経の良いお母さんがお子さんにやって見せています。それを楽しげに見ている作者の眼差しがあります。

命脈を裂けし樹幹に梅真白

評 多摩市 石月由多加
張った調べに梅の木の生命力を乗せています。

雛曇てふやさしき呼名薄紅梅

評 府中市 古川 緑
優雅な名前を取り入れて雅な句に仕立てました。

特選（小・中学生の部）

そよ風がきらきら光る森の中

評 調布市 横山 涼真 小三
風がきらきらして、とてもきれいなはくになりました。

うめの花つぼみがふくれさいてくる

評 府中市 國森 咲希 小三
大宰府由来の飛梅も手入れが良いせいかだいぶ育ってきて、

佳作（一般の部）

青空へ明日咲く梅の蕾かな	府中市	芝 喜久子
木々の影色濃くなりて梅ひらく	府中市	志田 礼子
小流れに沿ひて水仙香り立つ	府中市	山田 節子
せせらぎに雲を遊ばせ猫柳	府中市	福江 洽一
去りがたき梅月影の枝垂れかな	府中市	大内みち子
白梅や詩集ゆかしき四郎館	川崎市	藤原 幸子
多摩川をのぞむ四阿梅香る	狭山市	古谷多賀子
梅の香や瀬音と共に流れ来て	牛久市	佐々木直隆
ラフバイの香り豊かに人の影	府中市	橋本 利昭
あたたかや鶉が園を跳ね歩く	国分寺市	藤田 満枝

佳作（小・中学生の部）

寒いのに口ウバイ元気に咲いてるね	川崎市	長瀬 聡汰 小四
梅や梅咲いていねどもつぼみでも	新宿区	元木 優子 中三
月かげのさいしよの一花こんにちは	八王子市	桂 月乃 小三

（敬称略）新漢字・歴史的仮名遣い 順不同

【榎本 達】

昭和二十三年東京都府中市生まれ。市村究一郎に師事。俳人協会会員。